

小千谷って どんなところ?



船岡公園の桜

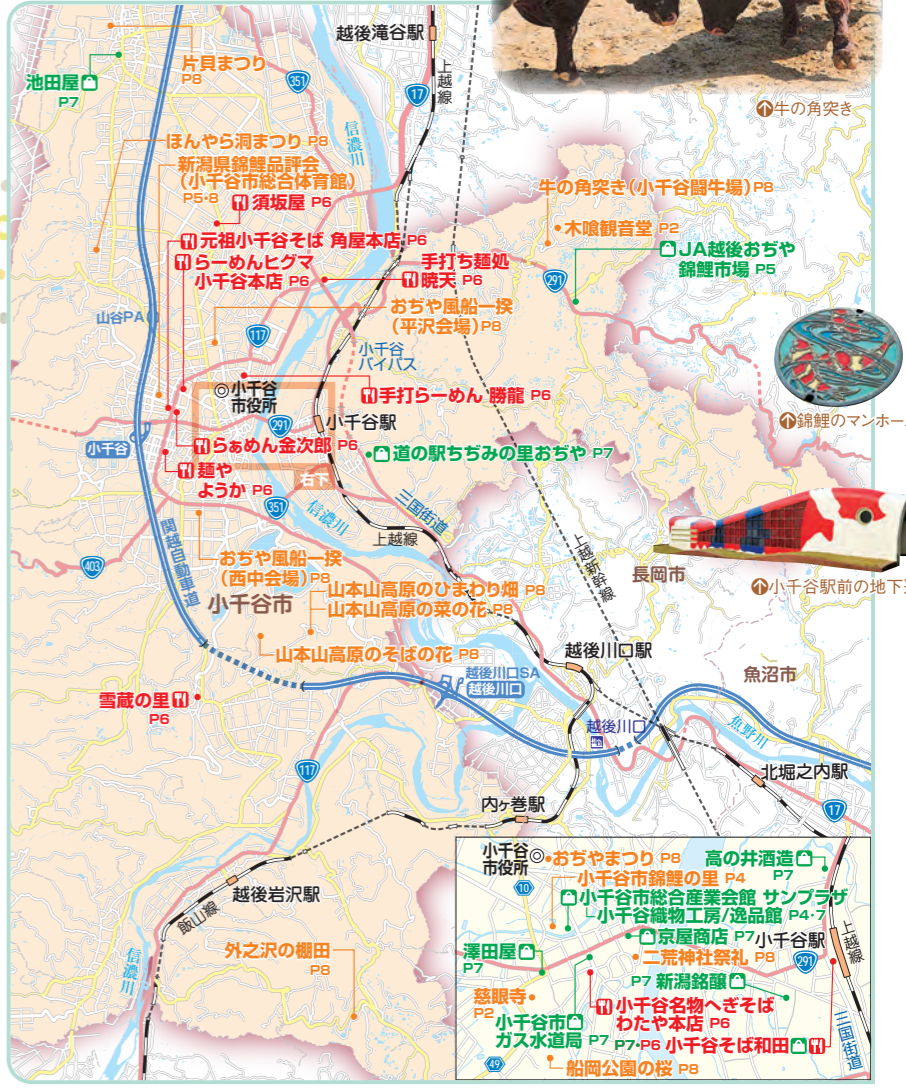


サンブラ通り
錦鯉街灯

新潟県中部、越後平野の南端に位置し、信濃川の河岸段丘に沿って市街地が発展する。泳ぐ宝石といわれる錦鯉発祥の地であり、国の重要無形文化財とユネスコの無形文化遺産に登録される小千谷縮、国の重要無形民俗文化財に指定される牛の角突きなど、独特の文化をもっている。



牛の角突き



自然 豊かな自然が描く 四季の花景色



山本山高原のヒマワリ畑



へぎそば

市街地のほぼ中央にそびえる標高104.9mの船岡山山頂部に広がる船岡公園は桜の名所。標高336mの山本山からは、越後三山や会津の山並みを見渡せ、眼下に信濃川の流れる新潟平野を望む。菜の花畑、ひまわり畑、そば畑など、山麓に広がる四季折々の花風景も見ごたえがある。

へぎそばは、小千谷縮を織る際に糊付けに使われていた布海苔をつなぎにしているのが特徴。へぎと呼ばれる器に盛り付けることから「へぎそば」と呼ばれ、手を振るようにしてそばを盛り付けることから「手振りそば」とも呼ばれる。



小千谷縮の雪晒し

江戸時代初期、播州明石から来た堀次郎将後が、越後麻布に改良を加えて完成したのが小千谷縮。緯糸に強い撚りをかけて縮ませるにより独特な「しぼ」ができ、雪に晒すことで地の白さを際立たせるのが特徴。

錦鯉とは「色や斑紋がある鯉で、観賞用に飼育される鯉」のこと。大正3年(1914)に開催された東京大正博覧会で紹介されたから一般に知られるようになり、品種改良も進んだ。

歴史 北越戊辰戦争 木喰仏



慈眼寺

江戸時代に三国街道の宿場町として発展。慶応4年(1868)の北越戊辰戦争では、武装中立を唱えた長岡藩家老・河井継之助と、新政府軍・岩村精一郎が慈眼寺において会谈するが、決裂し、戦争は激化した。江戸時代後期の遊行僧・木喰上人が約2年滞在したことから、微笑仏ともいわれる木喰仏が数多く残されている。

泳ぐ宝石といわれる 日本の国魚・小千谷市の魚 発祥の地で 錦鯉の 魅力に迫る!

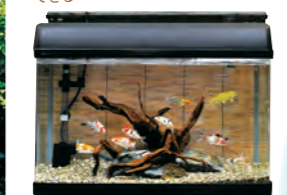
泳ぐ宝石ともいわれる錦鯉。海外でも人気が高く、小千谷市にも海外から多くの愛好家が訪れている。慣れてくると、手からエサを与えることもできるといいます。その魅力を探ってみました。



色、模様、形もさまざまで、同じものはないという

大きく育てるなら屋外の庭池で

手軽にガラス水槽で飼うこともできる



写真提供:月刊錦鯉

錦鯉の 飼い方

錦鯉を飼うのは難しい。そう思っている方も多いのだが、エサの与え方、ろ過装置、水替えなどの基本的なことさえ守れば、意外と手軽に飼うことができる。錦鯉は性格がやさしく、人に慣れやすく、飼育器の大きさや飼育数によって自ら成長を調整する。たとえば、たくさん飼育すると、成長が緩やかになり、ある一定のサイズで成長がほぼ止まる。したがって、飼育環境を調整することで、理想の大きさに育てることもできる。

写真提供:新日本教育図書

錦鯉の 品種



錦鯉の品種は、バリエーションも多岐にわたる。80種類以上にも及ぶ。なかでも人気が高いのが、「紅白」「大正三色」「昭和三色」で、錦鯉の御三家とも呼ばれている。最も代表的な品種である「紅白」は、白地に紺斑という赤い模様が入る。「大正三色」は紅白に黒い斑紋を点在させたような模様の特徴。「昭和三色」は、大正三色と同じように紅、白、黒の三色だが、黒が多く、線や面状になり、腹まで模様が入るものも多い。

錦鯉の 始まり

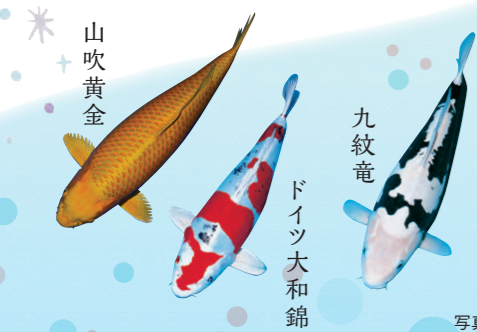


錦鯉を飼育する小千谷市
東山地区の棚池

今から約200年前の文化・文政時代、新潟の二十村郷現在の小千谷市や長岡市の一部では、棚田で米や野菜を栽培していた。棚田の上部には貯水池が造られ、農業用水として利用するほか、冬の食用として鯉を飼育していた。この鯉が突然変異を起こし、色の違う鯉や模様のある鯉が生まれた。以後、改良を重ね、現在のような美しい姿の錦鯉へと変わっていった。



錦鯉を飼うのは難しい。そう思っている方も多いのだが、エサの与え方、ろ過装置、水替えなどの基本的なことさえ守れば、意外と手軽に飼うことができる。錦鯉は性格がやさしく、人に慣れやすく、飼育器の大きさや飼育数によって自ら成長を調整する。たとえば、たくさん飼育すると、成長が緩やかになり、ある一定のサイズで成長がほぼ止まる。したがって、飼育環境を調整することで、理想の大きさに育てることもできる。



写真提供:新日本教育図書

アクセスガイド

鉄道で...	
小千谷駅	上越新幹線・JR上越線で 東京駅 約2時間
小千谷駅	上越新幹線・JR上越線で 新潟駅 約40分
車で...	
小千谷IC	関越自動車道で 練馬IC 228.8km
小千谷IC	北陸自動車道・関越自動車道で 新潟西IC 68.8km
高速バスで...	
小千谷着	池袋駅東口発 約4時間 7~20時の毎正時発
小千谷着	池袋駅東口発 30分 11時2分~24時2分着
小千谷着	池袋駅東口発 30分 23時30分発 3時47分着